



# さばかん通信

さんばんぜかんきょうがくしゅうかん



## 今月のテーマ 干潟はシギ・チドリたちのレストラン

三番瀬の干潟にはいろいろな種類の鳥たちが、1年を通して代わる代わるやってきます。その中でもシギやチドリのなかまの鳥（略してシギチ）たちにとって、干潟はとても大切な食事場所。三番瀬にいる間は食べて食べて、食べまわります！

### 記事を書いた人 アテンダント 野口



三番瀬の干潟でシギチを見たのがきっかけで野鳥が好きになりました。  
好きなシギチはシロチドリ。  
見たいシギチはツバメチドリ。

**シギチはどこからきたの？** シギチの多くは、夏のあいだ日本よりずっと北にある「繁殖地」で子育てをし、南にある「越冬地」で冬を過ごします。地球の北へ南へ、あの小さな体からは考えられないほどの長距離を移動してくらしています。今の時期に三番瀬にやってくるのは、繁殖地から越冬地に向かう途中、休憩と栄養補給のために立ち寄った鳥たちと、三番瀬で冬を過ごすために移動してきた鳥たちです。次の目的地への長旅に備えて、干潟でエネルギーをチャージします！

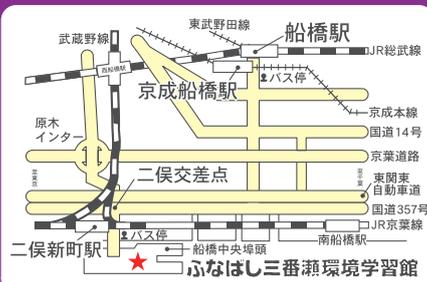
**シギチは何を食べているの？** 一見何も無いように見える干潟も、よく見てみると、小さなカニや魚、ゴカイや貝など、さまざまな生きものがたくさん見つかります。そんな干潟の生きものたちが、シギチのエサになるのです。またシギチは種類によって体の大きさが異なり、シギのなかまはくちばしの形も違います。それぞれが自分のくちばしの形や機能を生かした作戦で、自分に合った獲物を探し、捕まえて食べています。

いろんな鳥がいるね

### シギ・チドリのなかまとエサになる生きもの

チドリのなかま		シギのなかま		ミヤコドリのなかま	
シロチドリ	ダイゼン	ダイシャクシギ	ミヤコドリ	シオブリキ	
 コイツキカニ	 ゴカイのなかま	 ニホボクサナモグリ	 シオブリキ		
すあなで 巣穴から出てきたカニやゴカイを短くくちばしで素早く捕まえて食べます。	みじか すばや 短いくちばしで、砂の中の生きものを探して食べます。	なが すな なか 長いくちばしで、砂の中の生きものを探して食べます。	にまいがい から まさ くちばしを二枚貝の殻のすき間に差し込み、こじあけて中身を食べます。		

さまざまな種類の生きものがたくさんいる干潟は、長距離を移動するシギチたちが食事や休憩をする場所として、他には代えられないとても貴重な環境です。みなさんもぜひ三番瀬に来て、シギチの食事の様子を観察してみてください。そしてその時は、足元にいる干潟の小さな生きものたちにも目を向けてみてくださいね！（野口）



**ふなばし三番瀬環境学習館**  
 【開館時間】 9:00~17:00 【休館日】 原則月曜日（祝日と重なった場合は翌平日）※9/22, 9/29, 10/14, 10/27は開館  
 【アクセス】 電車・バス：JR船橋駅・京成船橋駅、JR二俣新町駅から路線バス「船橋海浜公園」行終点下車/車：国道357号二俣交差点を「船橋中央ふ頭」方面へ（駐車料金普通車：500円）  
 【お問い合わせ】 〒273-0016 千葉県船橋市潮見町40 メール：pr@sambanze.jp  
 電話：047-435-7711 FAX：047-435-7712  
 公式ホームページ：https://www.sambanze.jp/

**野鳥インフォメーション**

**ダイサギ**  
 三番瀬では一年中見ることができ、大型のサギです。夏から秋には飛来数が増えます。浅瀬や潮だまりの近くで狙いを定め、長くくびを一気に伸ばして魚をとらえます。（大口）

大きなシロギスをゲット！